

## 令和6年度 鈴CON2024よりよく暮らすための講演会 アンケート回答

### 基調講演を聞いてのご感想

- ・いろいろな課題はあるが、患者一人一人に合った適切な移行支援ができればいいなと思った。
- ・本人の成長とともに親が齢をとっていくのは大変な問題です。サービスの利用をしていてももうダメだと思ってしまうのか病院の入所となっているのが現状です。医療の発達により親より短い命という危機感が少しずつ薄れてしまい、ずっと在宅で頑張ってきている親と共に看取りができるトランジションになってもらいたいと思っています。
- ・トランジション移行の取り組みが具体的にわかりました。
- ・身近に、相談を受け、そして何かサポートを受けることが出来るセンターがあることは、ご家族、親御さんにとって心強いと思います。
- ・基幹病院が、しっかりと動き連携を大切にしているのがとてもよいと思った。児者や家族が安心して生活できる社会の仕組み作りをもっと頑張っていかなければと思った。
- ・学校から福祉サービスへの移行だけでなく、医療面での移行など、重度の方の成人期へ向けて大変さを少し知ることができました。本人、保護者に寄り添う支援をしていきたいと改めて思いました。本日は貴重なお話をありがとうございました。
- ・同じ病院の中でも医師の異動で担当医が変わるのにも不安を感じるのに、転科・転院となるともっとだと思ふ。見捨てられる感は本当にある。今まで先輩母との話の中で成人移行の話も出てきていて、近い将来自分のところにも来ると思って過ごしています。今日のお話の中で、移行支援がここまでしっかりしてもらえると移行していきやすいなと思いました。広島でもここまでしてもらえるのか...
- ・成人期医療移行、羨ましく思いました。自治体によって差がある。広島が大阪よりも遅れている原因はどこにあるのでしょうか？
- ・先進的な取り組みについてうかがうことができ、とても勉強になりました。トランジションは、転科だけではなく、福祉的なこと・生活を含めたこと課題だということ再認識しました。

### シンポジストのお母様へのメッセージ

- ・本日は貴重なお話をさせていただきありがとうございました。ご家族、ご本人が安心して、本人らしく生活できるように多職種理解、協力が得られるような取組みに繋がっていきたいと思います。
- ・ご家族だけで悩まず、周りの方、行政など多くの方と協働でがんばってください。私にもできる事ことを考えたいです。
- ・うちもたくさん悩んでいます。同じです。一緒に頑張りましょう。
- ・子育てで悩んでいた時の苦労はとても想像以上に大変だったと思います。素敵な写真を見せていただいたことで、お二人の娘さんのように将来が明るいお子さまが増えたらいいなと思いました。お話をさせていただき参考になりました。本当にありがとうございました。
- ・本日は貴重なお話をありがとうございました。支援に関わる者として、支えになるキーワードを沢山いただきました。またどこかでお二人、お母様にお会いできたらな～と思いました。今日から私も自分の役割を見つめ直し頑張っていこうと思いました。
- ・子どもさんの成長とともにお母様のとまどい思いが分かりました。ご家族の気持ちが伝わりとても身近に感じました。小さい頃から一つ一つ大変なことが多かったと思います

が、とても心強く感じました。貴重なお話ありがとうございました。

・これまでのお母様の体験や思いを知ることが出来、これからの多職種連携や情報提供に繋げていけるように日々頑張ります。ありがとうございました。

・共感するところがたくさんあり、我が子も幸せに通える事業所が見つかるの良いなとしみじみ思いました。

・我が子を産んだ時、まだまだ小さい時の頃の日々の気持ちを思い出し、共感しました。今も日々2人一緒に楽しそうに通える場所があり、元気であること、お母さんにとって、本当に嬉しいですね！素敵な家族だなと思いました！

#### シンポジストへのメッセージ

・多職種が連携することが必要不可欠だと改めて感じました。顔のみえる関係をつくり、ご本人・ご家族がすごしやすい社会に向けて取組みをすすめていきたいと思えます。

・大変有意義な会でした。今回のように関係者の話が全体としてきけることはありがたいです。

・特別支援学校での児から者への移行支援の話が聞け、職員として関わる上での思いが知れました。高等部からではなく、小学部から始まっていること、先生の関わりが知れました。「いつでも、どこでも、だれとでも」大切な言葉だと思いました。

・移行支援について触れたことがなかったため、新しく知ることがたくさんあり、たくさん学びがありました。

・視線入力をゲームする事で満足するのではなく生活の中で利用出来るようにしてもらえるとありがたい。肢体不自由でもお仕事させてあげたい気持ちを保護者はみんな持っています。

・生活介護への移行支援に必要なこと、重要なことをわかりやすく説明していただきました。切れ目のないシームレスな支援と、その人らしく生きていけることに少しでも関わって役に立てたら、と強く感じました。

・医療的ケア児への関心がさらに強くなった

・地域格差が生じてしまうサポートが、少しでも無くしていけたら良いなあと感じました。

・それぞれの立場でのお話を聞けるよい機会でした。将来を見据えた関わりができるようにしていきたいです。